

choseikai Since 1945. Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 10 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201

TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

感謝の気持ちを込めて!!!

9月20日『敬老の日』。きりんアパルトメントでは職員がひとつひとつ手作りしたどら焼きをふるまいました。

ホットプレートで焼いた生地には、お好みで漉しあんや粒あん、栗やホイップクリームを乗せ、最後に羊羹を横に添えて出来上がり。ほかほかのどら焼きを皆様、おいしそうに食べられました。

また、デイケアきりんでは職員が大正琴の演奏を披露し、手作りのメッセージカードを皆様にお渡ししました。

老健きりんではソーシャルディスタンスを保ち、カラオケ大会を開催しました。たくさんのご家族の面会もあり、日々の感謝の気持ちをお互いに伝えられています。



彼岸花

田んぼの畦道に群がる真紅の彼岸花は、とても神秘的な感じがします。そんな彼岸花を題材とした【彼岸花が咲く島】が第165回芥川賞を受賞しました。

その本の中で苦痛を除く植物として使用され、他国との貿易品としても扱われていたとあります。

実際に、彼岸花の球根をすりつぶし塗り薬として使われていたそうです。また、球根には毒成分もあり、その特性を生かして田んぼや畦道に植えられ、モグラやネズミから作物を守る役目もあります。



収穫の秋

きりんの畑に実った枝豆を収穫しました。利用者様が一つひとつ丁寧に枝から切り、ボールの中は枝豆でいっぱいになりました。

今年は雨が多かった為か小粒でしたが、茹で上がった真つ青な枝豆を口に入れると、秋の味覚でいっぱいになりました。季節のものに触れることの喜びを感じた一日となりました。

中秋の名月

月々に見る月は多けれど 月々に見る月はこの月の月



中秋の名月は、サトイモやサツマイモの収穫時期に当たることから「芋名月」とも呼ばれ、豊作を祝う祭りのような意味も込められているそうです。

また、十五夜のお供え物といえば、お団子と並んでススキが定番ですね。古来日本では背の高い稲穂は神様が降り立つ【依代】と信じられており、形の良く似たススキを稲穂の代わりに備えたことが始まりともいわれています。



どっぴんさん便り

雑巾やマスクの作成に加え、9月は素朴な形の写真立てに様々な造花を飾り付け、華やかな写真立てに生まれ変わりました。

また、大きめのビーズにカラフルな紐を通し編み込んでいき、プレスレットを作ったりと、まさに芸術の秋にぴったりなべっぴんさんです。

細かな作業も丁寧に、根気強く取り組まれ、出来上がった作品をとても嬉しそうに見せてくださいました。

